



りすぐみだより 10月

うろこ雲や心地よい風に秋を感じます。子どもたちはテラスの窓から園庭の木々の葉や、カーテンがフワっとなる様子を見たり、肌に当たる風を感じたりして、秋風の心地よさに気付いているようです。

穴の中からでてきたよ！

棚の上にトイレットペーパー芯をつけた玩具を用意しておくと「これ何？」という様子でAさんが近づいてきました。保育者がAさんの目の前でチューブを芯に通してみると、Aさんは芯の先から出てくるチューブに気付いて指先を使って引っ張り出そうとしていました。繰り返し遊ぶうちにほんの少しチューブの先端だけが出てきただけでもつまみ出せるようになってきました。しばらくすると、Aさんはチューブを芯に通そうとしはじめ、穴に近づけていました。何度も何度も穴に向かって入っていました。



“目と手の協応”

感覚と手の動き(運動機能)が発達していますね。

靴を履いて



園庭を歩いたよ！

靴を履いて園庭に出ると、はじめは戸惑う様子も見られましたが、一歩ずつ足を前に出して歩いていく姿が見られています。Bさんはりすぐみのテラスから、砂場の方まで歩いて行き、保育者の方を振り返ります。保育者が「いっぱい歩けたね」と声をかけると、Bさんは手をたたいて喜んでいました。歩けることが嬉しい様子で、何度も転んでは立ち上がり歩いていました。今までバギーに乗って見ていた景色とは違い、目の前のもの全てに興味があるようです。木々の葉っぱや花を指さしたり触ったりしながら「あ(った)、あ」と伝えてくるので、「葉っぱみつけたの、すごいね」と返すと目を輝かせながら次の探索活動に出かけていきました。



秋の宝物

子ども達にとって秋の自然は宝物がいっぱいです。どんぐり、まつぼっくり、紅葉した葉っぱ、木の実…たくさんあります。 お子さんと一緒に宝物探しに出かけませんか？

遊びの紹介

○どっちの手に入っている？

1. 左右どちらかの手にどんぐりを握ります。
2. 子どもがどちらの手に入っているか当てます。

○まつぼっくりコロコロ

1. 地面に大きな円を描いて少し離れたところから投げ入れます。
あっちにコロコロ、こっちにコロコロ
不思議な転がり方をします。

○どんぐりすべり台

1. オリジナルのすべり台を作ってどんぐりを転がします。
段ボールや厚紙、空き箱などでスロープを作ります。
 - ・どんぐりの形によって転がり方が違って面白いです。
 - ・長いスロープを作ると楽しいです。

